

川崎競馬倶楽部

15th ANNIVERSARY

<http://www.kawasakikeiba.com>

since1990

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4 川崎競馬倶楽部

2007年6月号

アンパサンドが東京ダービー制覇！ 詳細は次号にて。



南関東牝馬クラシック第二冠となる東京プリンセス賞が5月10日大井競馬場1800を舞台に行われた。カネショウメロンが逃げ、パチヨリが追う展開。人気のピュアフレームは後手を踏み1コーナーで詰まる厳しい道中、直線先頭に立ったシーホアンに直線半ばで迫ったのはアグネスターフを御す町田騎手の手綱だった。アタマ差つけて快勝。タイムは1分54秒5だった。

「自厩舎の馬で重賞を勝ちたい夢が叶いました」と町田騎手。デビュー翌年にダービー制覇した若武者は次なる目標を宣言していた。

「後ろから行く馬だからあわてず終いに賭けると指示したんだが3コーナーでは内があかずひと息待ったあのタイミングが良かったね。なかなかいいコース取り。乗り役の気持ちに余裕があったからできた勝利。10年かかったってできるもんじゃない。ホント見事だった」と弟子の好騎乗を讃える秋山重美調教師。

「こんなに先生に誉めてもらったのは初めて」と愛弟子・町田騎手も嬉しそうだった。

「ブレイヴェストローマンが入った肌馬がほしくてこの馬の母親と出会う、姉のスガコは決めてあったが骨折してしまい、兄のミシクターフは気が強すぎて難しい面がある。アグネスターフの場合は最初弱い面があったんだがしっかり時

アグネスターフ東京プリンセス賞優勝



アグネスターフ

父アグネスカミカゼ

母ターフナチュラル

牝3歳 鹿毛 2004年4月30日

馬主・幸田 聡

調教師・秋山重美

騎手・町田直希

厩務員・高崎 航

生産者・元道牧場

間をかけて運動してだんだんと力をつけてきた。使った時にタイムも詰めて。気性も素直で終い確実に伸びてくる脚が素晴らしいね」と秋山師。

「スタートはよかったんですけど今まで先行したことはないで馬が行こうとしない。いざってタイミングになるとステッキに反応してクビを使って走って伸びてくる。馬がわかってるんですね。今回は4角で手前を変えたのに直線また自分から手前を変えてきました」と町田騎手。

日頃の調教から世話まで任されているのが高崎航厩務員。

「今回は勝つものと信じていました。厩務員バスの中でビジョンを見ていたんですが、この馬なら末脚を出し切って自分の競馬をしてくれると。最初乗った頃からストライドが大きく全身がバネみたいで乗ってみて改めて素質を感じています。当初は体質弱くて乗り込むと歩様が乱れたりもしたんですが、乗り運動に時間をかけるようになって脚腰が強化。攻め馬を積めるようになってじょじょに強くなってるのがわかりました。飼料面も工夫してチャブページを与えてみました。草を醗酵させてものですが、栄養価が高く消化もいい。それに好んで食べますね。そのほかにも腸の働きを促す飼料なども加えるようにして体質強化に時間をかけました。今では牝馬にしてはよく飼料を食べますね」。

合格おめでとうございます

6月1日付で吉橋淳一調教師と加藤誠一、林隆之調教師補佐が新規免許を取得されました。



■吉橋淳一(よしはし・じゅんいち)調教師

1972年5月15日生 35歳 東京都出身 血液型B
芝浦工大から下河辺牧場に就職。さらに馬の仕事がしたいと直談判で川崎へ。厩務員として高月厩舎から現在の鈴木敏一厩舎へ移り調教師補の試験は一発合格。5年の補佐経験を経て挑んだ調教師試験も1回で合格した。「鈴木先生のように人も馬も育てていける調教師になりたい。梓にあてはめず臨機応変な馬づくりをしていきたい」。12月に開業予定。



■加藤誠一(かとう・せいいち)調教師補佐

1970年8月25日生 36歳 鳥取県出身 血液型A
ビッグレッドファームからスタートした競馬の世界だがキャリア13年。オーストラリアのランドウィック競馬場などで2年間の修行を積み、川崎競馬に入ったのは山崎厩舎から。現在の田島厩舎では開業スタッフとして尽力してきた。「調教師を目指して田島先生の元で学びたいと思っています」。



■林隆之(はやし・たかゆき)調教師補佐

1973年2月1日生 34歳 神奈川県出身 血液型A
動物専門学校で馬と出会ったこときっかけに退学してサンエイ牧場へ飛び込んだ。大沼調教師、武井調教師とは親戚にあたり、牧場時代に「川崎へ来ないか」と声をかけられたことから武井厩舎へ。現在の池田厩舎に移って7年。「これまでも補佐に近い役割をさせてもらっていましたがより上を目指して役に立てようがんばります」。

アグネスターフのその後

東京プリンセス賞を制し、関東オークス出走に向けて調教を積まれていたアグネスターフが6月4日調教後にネンザを発症。

大事をとって関東オークスを自重することになりました。

「距離延びての走りを楽しみしていたので残念ですが、先のある馬ですから活躍のチャンスはまたあると思います」と町田騎手。

このあと北海道へ休養に出されます。

杉村勝実調教師が引退



杉村勝実調教師が一身上の都合により5月31日付で引退しました。

杉村調教師は神奈川県出身。56歳。

大学を卒業後、会社員を経て父である杉村繁盛厩舎で厩務員から調教師補佐、昭和57年に調教師免許を取得した。

通算成績は2042戦194勝。

訃報 中野五男調教師



あまりに突然の訃報だった。

5月28日。その日の朝もいつものように調教馬場に姿を見せ、いつものように家族と朝食をとり、いつものようにゴロリと横になったそのまま永遠の眠りについて中野五男調教師。享年51歳。脳内出血だった。

福島県相馬の出身。野馬追いで有名な彼の地で中野師は生まれた。野馬追いは武者姿で馬にまたがり神旗を取り合ったり、馬を走らせたりする勇壮な祭。

中野家の五男として野馬追いと共に育ち、代々に伝わる神旗を掲げ、甲冑姿に身をつつんで競うのが生き甲斐だった。その姿はポスターやカードにおさめられたこともあった。

長兄は中央競馬の厩務員。甥っ子もまた競馬界に身を置くなど馬との縁は深く、中野師は高校を卒業すると同じ福島出身の大和田明師の元に昭和49年3月弟子入りした。騎手デビューを果たしたのは昭和50年のこと。13年間騎乗したのち厩務員を経て平成2年に調教師補佐に転向。調教師として開業したのは平成7年6月。以来、1602戦103勝通算成績を挙げたが志半ばにしての早すぎる旅立ちだった。



葬儀の祭壇はカトレアの花で「七曲がりの坂」が描かれた。七曲がりの坂は野馬追いで勝利した者だけが駆け上がることを許される坂。みさ子夫人そして野馬追いに一緒に出場していた長女的美夏さん、次女の舞さんの希望によりなされた演出だった。父の金雄さんとの親子三代での出場は新聞記事になったこともある。遺影の両側には中野家代々の「白地に赤山道」「葉山大権現」の旗が立てられていた。

「陽気にでぎやかなことが好きな性格、それでいてさみしがり屋なところがあったからいつも周りにはたくさん人が集まる人気者だった」と人柄を知る関係者の誰かが言う。

また、甥っ子の今井輝和調教師は「人を喜ばせるのが大好きな人でした。師匠としても口に出さずにいろいろ陰で支えてくれているのはよくわかっていました。もっと教えてほしいことがたくさんあったのに」と早逝を悼む。

葬儀での列席者の行列は途絶えることなく、改めて中野師の人柄が偲ばれた。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

なお、規定により管理馬は半年間、佐々木仁調教師の預かりとなります。

ブルーローレンス川崎に再転入

笠松に移籍したブルーローレンスが5月17日古巣である足立勝久厩舎に再転入しました。04年クラウンカップをはじめ、05東京シティ盃、テレビ埼玉杯と重賞3勝。



5月25日、大井競馬場で行われた調教試験に登場しかつての相棒・的場文男騎手を背に1分36秒4という好タイム。スタートして2番手から抑えきれない手応えで先頭に立ち終始馬なりのままでした



緒戦は京成盃グランドマイラーズ(6月19日・船橋)を予定しています。

今野忠成騎手に感謝状



5月16日神奈川県庁知事室にて、松沢県知事より今野忠成に感謝状が贈呈された。今野騎手はデビューから12年間かかさず児童養護施設の聖園子供の家に対して寄付を行い、総額は600万円に達したことによる。寄付金は児童たちの生活環境整備などに充てられ今年1月には新しい建物も完成している。



おつかれさま 平成19年4月退厩馬

厩舎名	馬名	性	年齢	退厩先	退厩理由
原三男	エイコークック	牝	3	北海道	繁殖
今井輝和	リュウカザン	牡	3	群馬県	乗馬
内田勝義	ボディーアタック	牡	7	群馬県	乗馬
鈴木敏一	ワンリバー	牡	7	茨城県	乗馬
長谷川茂	コウノマンボ	牡	5	神奈川県	廃用
足立勝久	モエレネイティブ	牡	3	岐阜県	転厩
村田六郎	シークレットボス	牡	3	神奈川県	廃用
田邊陽一	ノーブルパッション	牝	4	栃木県	繁殖
内田勝義	ニシノハーロック	牡	7	石川県	転厩
山崎尋美	ウインビー	去	4	群馬県	乗馬
武井栄一	アライワジョー	牡	3	群馬県	乗馬
田島寿一	ノースフェニックス	牡	5	群馬県	乗馬
武井栄一	アラジシジョー	牡	4	岩手県	転厩
安池成実	マンダリンゴクウ	去	5	埼玉県	乗馬
河津裕昭	マイネルダニエル	牡	4	神奈川県	廃用
足立勝久	ベルベットボクサー	牡	4	茨城県	転厩
秋山重美	マイティディアプロ	牡	4	静岡県	乗馬
三橋三吉	ウインフェニックス	牡	4	神奈川県	乗馬
山崎尋美	タヤスガリバー	牡	5	群馬県	乗馬
武井栄一	ナイトピクニック	牡	3	北海道	乗馬
田島寿一	エメラルドシティ	牝	4	北海道	繁殖
田島寿一	ゴールドクラップ	牝	4	佐賀県	転厩
鬼沢裕充	ジェルクルキバ	牝	4	茨城県	乗馬
秋山重美	サンタフェ	牡	3	佐賀県	転厩
久保秀男	カネマサヴィーナス	牝	6	群馬県	乗馬
足立勝久	シャンハイチキータ	牡	6	埼玉県	転厩
河津裕昭	アイアムドルフィー	牡	4	神奈川県	乗馬
安池成実	ミチノクスイセイ	牝	6	神奈川県	乗馬
山崎尋美	スカイタイクーン	牡	4	宮城県	転厩
田島寿一	ブルーベルフラワー	牝	5	愛知県	転厩
中野五男	アストロラヴ	牝	6	埼玉県	転厩
秋山重美	クレセラル	牡	3	北海道	転厩
足立勝久	ブルーカントリー	牡	4	岐阜県	転厩
内田勝義	ローズフレッシュ	牝	3	北海道	繁殖

HAPPY BIRTHDAY 6月生れ

坂下武男厩務員(3日) 高橋隆厩務員(4日) 久保勇調教師補佐(6日) 稲子善行厩務員(7日)
伊澤純也厩務員(8日) 川口真申厩務員(9日) 斉藤芳明厩務員(12日) 波多野了平厩務員(12日)
植松泰憲厩務員(13日) 佐藤博紀騎手(18日) 中地雄一騎手(18日) 福島秀夫調教師(23日)
村田六郎調教師(23日) 木戸勉厩務員(24日) 仁岸尚昌厩務員(26日) 星谷俊厩務員(27日)
佐藤修吉厩務員(30日)

星谷 俊 厩務員 <今井輝和厩舎>



昭和49年大田区出身の星谷厩務員。高校生の時から旅に出るのが好きで全国を回っていたが(行っていない県はあと沖縄だけ!)、北海道で馬の魅力に惹かれてしまった。すぐさま道営競馬の事務局にアタック。電話口に出たのが当時の手島会長でとんとん拍子に話はまとまり学校をやめて北海道に向かった。「親は建設会社をやっていたんですが反対する暇もないうちに北海道に飛んでいました」という行動派。

道営では9年。「11月だったんで道営開催が終わったばかりでタイミングが良かったんですね。手取り足取り馬のことを一から教わることができました。その恩人が内田厩舎にいる波多野さん。川崎へきたのも先に来ていた波多野さんのおかげです」。

内田厩舎には6年いて、現在の今井厩舎には今年から移ったが道営時代に学んだ馬づくりが今でも星谷厩務員の基本になっているという。

「その頃の北海道競馬は巡業中心でしたので競馬場へは実弾、トレセンには控えをという感じです。なかなか勝てずにいた時に担当したリードリズム。この馬では新馬、特別、重賞と一気に手にしました。体質が弱いので苦労しましたが王冠賞では7馬身逃げ切りでインテリパワーを負かしたり。三冠は着、着、着。岩見沢競馬場が洪水にあって、馬房に水が入って脚元に菌が入って可哀相なこともありましたね。リードスキーという馬ではエーデルワイス賞を勝って。地元馬による初交流勝ちだったんです。そのリードスキーの仔がロイヤルボス。不思議な縁ですね」。

「今井厩舎の役に立てるよう燃えている」という現在の担当馬はグリーンベルトとライトフェニックス。休みの日にはバンドでキーボードを叩いたり、パソコンではプログラムを構築するなどの多岐多様な一面も持つ。27日で33歳の誕生日を迎える。



2006川崎競馬スーパーPOG募集開始しました!

詳しくは <http://www.kawasakikeiba.com> をご覧ください。